

# 校長式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは秋田高専を卒業して新しい世界に飛び出していきます。

皆さんそれぞれに秋田高専の思い出は様々だと思いますが、まずは卒業という一区切りです。

皆さんの秋田高専での生活を応援してくれたご家族をはじめとした方々への感謝の気持ちとともに、新しい世界に元気に羽ばたいて行ってほしいと思います。

さて、最近益々技術の進歩が注目を集めるようになってきています。

人間は、様々な道具や機械を生み出してきました。様々な発明と発見を成し遂げてきました。人間は、飛行機があつてはじめて空を飛べます。自動車よりも早く走れる人間というのは考えられません。高度な技術で作られられた機械は人間をはるかに上回る力を持っており、爆発的に進歩しつつある情報技術によって高度化に加速がついています。優れた翻訳ソフトが見事に日本語を英語に英語を日本語に翻訳してくれるように、技術の進歩はますます加速していくことでしょう。

こうした素晴らしい人間の英知の結晶が我々の生活を支えています。進んだ技術は大いに活用していくべきだし、皆さんの力で技術の進歩をもっと進めてもらいたいと思います。

しかし、こうして生み出された文明の利器は、使い方を間違えるととんでもない被害を人間に及ぼします。我々の生活環境を、取り返しのつかないまでに破壊してしまうことすらあります。

高専で学んだ皆さんにとっては、便利なこと極まりなく生活に欠かすことはできないけれども、人間が制御しきれないような力を発揮するまでに進歩してきた技術の力と、どう向き合っていくかがこれからの大きなテーマとなります。

電卓よりも早く暗算できないか、自動車よりも早く走ることはできないか、こんな機械と力くらべをするような競争をしようという人はいないと思います。しかし、技術の力にひれ伏して思考や生活をすべて任せきってしまう。または、技術の進歩をただただ追求して人間性を見失ってしまう。そんな人が皆さんの中から出てこないか、一抹の不安を抱かざるを得ません。

それは、皆さんが頼りないからではありません。人類の歴史の中で、多くの発明や発見と表裏をなすがごとく、目を覆わんばかりの悲劇が繰り返されてきた実例があるからです。

技術を文明の進歩のために活かすのも、悪事の道具として悪用するのも、それは人間しだいということをお忘れなくください。

技術の専門家を養成する学校である本校を卒業した皆さんが、技術をいかにして人間として使いこなしていくのか。その時に求められるのは、技術の専門的な知識よりも、むしろ人間性です。善悪の判断ができる正義感、他者を傷つけない・弱い立場の人間をいたわる思いやりの心、社会の一員としての責任感、人間尊重を旨として技術を使いこなしていく。技術に携わる皆さんだからこそ、より一層高い人間性が求められます。

高専での学生生活は、15歳で中学を卒業してからの本科5年間、専攻科をいれて7年間、人間性が最も磨かれるべき大切な時期をカバーしています。私は、皆さんが秋田高専で技術についての専門知識とともに、技術を使いこなしていける高い人間性を身につけてくれたのではないかと期待しています。

皆さんのこれからの人生は、まさに前途洋々です。やる気と工夫しだいで、どんな大きな仕事も成し遂げることができるでしょう。

皆さんには、皆さんが秋田高専で蓄えた力を大いに発揮して活躍してもらいたいと思います。と同時に、皆さんが取り組む仕事の先に、必ず人間がいることを意識しておいてください。お忘れなく行ってください。

そうして、皆さんが持つ素晴らしい人間性が、皆さんの活躍によって社会全体の幸せに発展していくように、一層の精進に努めてください。

皆さんの活躍を信じて皆さんを送り出したいと思います。